

平成 29 年度 第 6 回 倫理委員会審議

申請者	副看護部長	馬場 勝江
受付番号	17-52	
課題名	「看護管理者が行う中間管理者の管理能力向上に向けた支援の現状」に関する調査協力	
研究の概要	上司である看護管理者（看護部長、総看護師長）が中間管理者（看護師長）の管理能力向上のために行っている支援の現状を調査し、その結果をふまえ今後の中間管理者の管理能力向上に必要な支援についての検討を行う。	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	放射線科特殊撮影主任	渡辺 武美
受付番号	17-53	
課題名	九州地域における一般透視検査被ばく線量の実態調査と線量指標の設定	
研究の概要	放射線診療における医療被ばくは患者が受ける被ばく線量に制限は設けられていなかったが、年々増加する医療被ばくに対応するために、ICRP（国際放射線防護委員会）やIAEA（国際原子力機関）は、放射線防護の最適化のための診断参考レベルを各国で設定するよう求めてきた。我が国においては、2015年に放射線診療に関連する学協会によって組織された医療被ばく研究情報ネットワークにより診断参考レベルが設定され、各施設の被ばく最適化の指標として広く活用されている。しかし、消化管透視や腹部透視に用いられる一般透視検査においては、診断参考レベルの設定が見送られ最適化の指標がない状態で日常診療が行われている。そこで一般透視検査の被ばく線量の実態調査を行い、施設間の被ばく線量の格差や装置間の特性を求めて、一般透視検査における線量指標の設定を提言することで、多施設に渡る医療被ばくの最適化や均てん化の検討を行う。	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	放射線科 RI 検査主任	岩槻 篤則
受付番号	17-54	
課題名	CT 検査における自動音声にて、男性音声が高齢者に有効かを検討する	
研究の概要	CT 検査では自動音声により、患者に支持を出していることが圧倒的に多い。その指示の内容の殆どは、呼吸停止に纏わる「息を吸って」や「楽にして」などである。そしてその音声はほぼ女性音声であると言える。しかし高齢者では、この女性音声聞き取りにくいと訴える場合が散見されるため疑問に感じていた。そこで、CT 検査における自動音声は、女性音声と男性音声どちらが聞き取りやすいのかアンケート調査を行い、男女や年齢の違いも含めて男性音声の有効かを考え、検討することで、CT 検査の自動音声の最適化を図る。	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	東 1 病棟看護師長	中島 由美子
受付番号	17-51	
課題名	人工関節置換術（以後 TKA）術後患者への膝関節部浮腫に対する複合的理学療法介入の効果	
研究の概要	術後の浮腫、特に人工膝関節置換術（以後 TKA）後は膝関節内の浮腫が著明に出現し、患者の苦痛と ADL 拡大の阻害因子となる。しかし現在は、浮腫に関してのケアは拳上（ポジショニング）と皮膚のケアのみで積極的な介入は行われていない。そこで今回は、浮腫の複合的治療の一部を取り入れ膝関節を中心に圧迫療法を行い、浮腫の軽減に貢献できるかを検証する。	
判定	迅速審査承認	H30.1.25 付承認課題。研究責任者変更のため再審議のうえ承認となった。

申請者	東 3 病棟看護師	千代田 真衣
受付番号	17-55	
課題名	スタッフの身体抑制解除に関する意識調査～教育的関わりを通して、介入前後での意識の変化	
研究の概要	<p>身体抑制使用患者のカンファレンスを毎日行っているが、解除に向けたアセスメントや検討が行えておらず、長期間抑制を継続している現状がある。そこで、今回マニュアルを活用した学習会や倫理的視点での事例検討会などの教育的介入を行い、身体抑制に対する意識、身体抑制解除に向けた取り組みの検討や意識づけを行うことで、教育的介入前後での意識の変化について比較・評価する。</p>	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	西 4 病棟看護師	小屋敷 ちひろ・山本 愛
受付番号	17-56	
課題名	終末期がん患者の退院に対する不安の実態	
研究の概要	<p>当病棟で実施した退院支援に関するアンケート調査で、退院支援の必要性を判断する際に悩む事があるかとの問いに対し、約 8 割のスタッフがあると回答した。退院支援が困難となっている要因や退院支援が必要な患者については、医療者側からの視点では研究によって数多く明らかになっているが、退院する主体者である患者・その家族の退院に対する不安な思いと要因についての報告は少なく、終末期患者の退院に対する不安な思いについて明らかになっている研究はない。そのため終末期患者を対象に退院に対する不安の実態を調査し、早期退院調整につなげたい。</p>	
判定		

申請者	東 2 病棟副看護師長	池田 貴子
受付番号	17-57	
課題名	育児休業復帰者への支援に関する副看護師長として抱える課題～「WLB 活動 ママナス」実施による支援活動行動への効果～	
研究の概要	<p>WLB 活動の一環として、副看護師長研究会では育児休業復帰者に対する支援として「ママナス」を開催している。育児休業復帰者の不安を軽減し、温かく受け入れる環境づくりを目指している。副看護師長として育児休業復帰者へどのような支援を行っているのか、ママナス開催参加が管理者としての支援に何らかのプラス効果があるのかをアンケート調査により明らかにしたい。</p>	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	5 病棟看護師	中島 由香里
受付番号	17-58	
課題名	終末期看護の実習指導において、実習指導者が感じる困難さと要因について	
研究の概要	<p>終末期の看護実習では、受け持ち患者を通してトータルペインの視点でアセスメントを行い、受け持ち患者の QOL を導き出して看護計画に反映させる必要がある。学生の特徴として 20 代前半で身近に死を経験したことが少なく、死に対し漠然としたイメージしかない。また、学校のカリキュラムでは霊的苦痛の勉強はほんの少ししかなく、終末期の看護実習で初めて霊的苦痛に触れることとなる。一方で、実習指導者も霊的苦痛とは何かを十分に理解し、把握できているのか自信がなく、さらにそれを学生が行っている援助に意味づけして指導をするという事に困難さを感じている。このようなことから、終末期看護の指導を行う実習指導者が、日々の指導で感じている困難さとその要因を具体的に明らかにし、今後の実習指導における課題を明確にする。</p>	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	東 2 病棟看護師	岸川 祥子・中川 明里
受付番号	17-59	
課題名	パーキンソン病患者に対する CD による音楽療法前後の気分や歩行状態の変化	
研究の概要	パーキンソン病患者の多くは薬剤調整を目的としており、看護としては症状観察し薬剤効果をみている現状がある。しかし、観察ではなく、患者の症状を少しでも和らげることができるような看護を実践できないかと考えた。そこで、音楽療法という一つの手法を用いることで看護の方法を統一し、パーキンソン病患者に対する効果的な関わりが出来ないかと考え、音楽療法の効果を検証する。	
判定	承認	計画どおり承認とする。

申請者	西 2 病棟看護師	藤本 照太・渡邊 愛子
受付番号	17-60	
課題名	胸部手術を受ける認知機能障害のある高齢者の日光を用いた睡眠障害への実態	
研究の概要	認知機能障害を持つ高齢者の術後は、入眠困難や中途覚醒などの睡眠障害を起しやすい。それらに対して、現在は睡眠導入剤の使用や車いす移乗を促して昼夜のリズムを付けるように関わっているが、効果が不十分であることも多い。また、認知機能障害のある高齢者は、管理の面から廊下側のベッドへ配置されることが多く、日光を浴びる時間が少なくなる。そこで、今回は日光を用いて昼夜のリズムを整え、睡眠障害への実態を調査する。	
判定	承認	計画どおり承認とする。

申請者	西 2 病棟看護師	牧野 愛美・中村 留美
受付番号	17-61	
課題名	せん妄発症を予防する関わり～CAM-ICU を用いて～	
研究の概要	ICU 患者は生命維持に関与する医療機器が常に付帯し、昼夜を問わず監視下に置かれ、頻回に処置が施される非日常的環境にあるため、大きなストレスを抱えている。せん妄の発症は ICU 患者の 6 ヶ月後の死亡率を有意に上昇させ、ICU 入室中のせん妄の持続日数が長いほど死亡までの期間も短くなるとも報告されている。以上の事より、ICU 患者におけるせん妄の発症は独立した予後不良因子である。そこで、CAM-ICU による統一したせん妄評価を行い、人工呼吸器装着患者のせん妄発症を予防する関わりを早期から行うことでせん妄患者の減少に繋がるのか検証する。	
判定	承認	計画どおり承認とする。

申請者	手術室看護師	江口 秀美
受付番号	17-62	
課題名	プレパレーション実施における幼児後期の周術期心理的状況の実態把握	
研究の概要	当院の手術室では、手術を受ける小児患者の手術や処置の状況についての理解を促し、周術期における小児患者のストレス軽減を目的としてプレパレーションを実施している。しかし、術前投薬によってプレパレーションの効果が見えにくいことや、明確な評価指標がないため評価の記録が残っておらず、本来の目的であった小児への理解の促しやストレスの軽減が図れているか十分に評価ができていない。そのため、最も効果があると思われる幼児後期を対象に、術前訪問時に現行法のプレパレーションを実施し、周術期心理的状況の実態把握を行うことで、プレパレーションの効果と今後の課題を見出す。	
判定	承認	計画どおり承認とする。